

佐々木怜央個展「from my childhood」」 プレスリリース



佐々木怜央個展
「from my childhood」
プレスリリース

NPO harappa 百石町展示館自主事業実施委員会、NPO harappa
2018年4月

開催概要

展覧会名：佐々木怜央個展「from my childhood」

会期：2018年5月2日（水）～6日（日）

10:00～18:00 ※最終日は16時まで

会場：弘前市立百石町展示館 第1・第3展示室（青森県弘前市百石町3-2）

主催：NPO harappa 百石町展示館自主事業実施委員会、NPO harappa

問合：弘前市立百石町展示館 電話0172-31-7600

入場無料

開催趣旨

空想や科学の過去と未来をテーマに制作活動を行う美術作家・佐々木怜央（青森県黒石市出身）の青森での初個展。原型に紙を用いたガラス器やガラスを用いた彫刻作品を中心に、本展にあわせて制作した新作を含め、過去に発表したガラス作品のほか、インスタレーション、制作過程で生まれたスケッチやドローイングなどを展示する。子どもの頃に、未来を想い、手をつかい工作したようなモチーフを、ガラスや鏡といったその存在を捉え難い素材で制作された作品たちは、我々に科学と自然がこれからのどのような関係となるのか、と問い合わせかける。

佐々木怜央（ささき・れお）略歴



1990年 青森県黒石市生まれ

2006年 奈良美智+graf AtoZ展（弘前市、吉井酒造煉瓦倉庫）
ボランティア参加

2012年 大阪芸術大学卒業

2014年 東京藝術大学大学院修了

2015年 ファッションブランド勤務

2017年～現在 デザインと美術の領域で活動中 東京都在住

[主な出展歴]

2010年 アメリカ・ロチェスター工科大学ガラスセミナー参加

2011年 高円宮殿下記念根付コンペティション入選

2012年 アメリカ・コーニングガラス美術館、NEW GLASS Review33選出

2013年第2回 そば猪口アート公募展入選

2015年 チェコ・スタニスラフ・ベンスキーアワード入選

2018年 アートフェア東京2018出展

Statement／開催にあたって 一佐々木怜央

近代の科学技術の発達により、これまでの自然利用的な力に比べて遙かに優れた力を發揮し、高効率な運搬や高品質な素材を獲得しました。私たちの住む環境は、人工物で溢れ、今日の凡庸な世界は視点を変えると自然界から隔絶された非凡な物で満たされているといえます。

“鳥の様に空を飛べたら”

“月に足跡を残したい”

“深海を探りたい”

“膨大なエネルギーが欲しい”

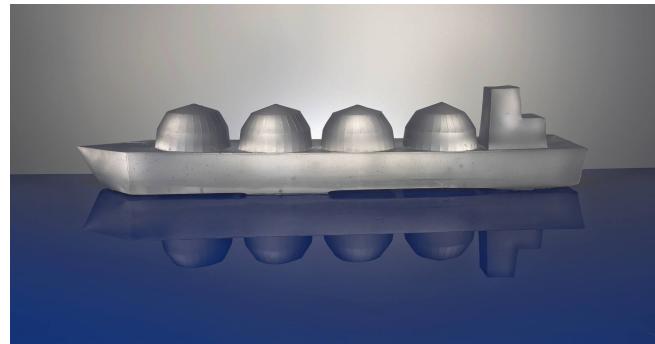
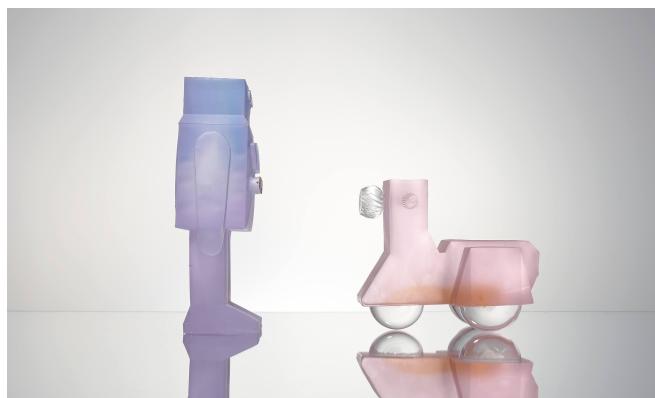
“もっと早く遠くへ移動したい”

こうして、日進月歩の科学技術とそれらに感化された空想とが相乗効果となり、時にとんでもない所まで私たちを連れて行く。自動車や飛行機の造形は空気を切り裂いて進むのに都合よい形をしていますが、私たちはそこに美しさを覚え、また生身の人間では到底到達出来ない環境で活動する為の宇宙服や潜水服、防護服は人の行動可能な範囲を飛躍的に拡大した一方、身を危険と隣り合わせに置いている。科学技術は私たちの想像力をかき立て、様々な願望を叶えるという形で自然のシステムに対抗する力となりました。

しかしながら事故や悪用による甚大な被害は、しばしば私たちの予想を遥かに超えるものとなる。自然のシステムの中にあったはずの私たちの意思はそのシステムから逸脱して、いったいどこに向かっているのかを深く問わなくてはならない。人工物や都合よく切り取られた自然の危うさに強い関心を持ち、それらをテーマに作品を制作している。

ガラスという透明な素材や、全反射するミラー等、物質があるのにその存在を捉え難い素材を扱う中で、同じく捉えようのない科学技術と人間の感性が作り出すアウトラインを思考している。まるでフワフワと青空に浮かぶ雲の様な、人の息でどこかに行ってしまう様な、ドローイングの線の様な幽かな物を通して、過去か未来かも分からぬ希望に溢れた科学の夢を見る。

作品画像・・・・・・・・・・・・・・・・



関連イベント／ギャラリーツアー

作家本人が今回の展示への思いや、制作意図、制作エピソードなどを、会場内を周りながら説明いたします。

日時：5月5日（土）14:00 ※40分程度

会場：弘前市立百石町展示館 第1展示室

参加無料 ※事前予約不要

問い合わせ先・・・・・・・・・・・・

弘前市立百石町展示館（担当：畠山）

〒036-8035 青森県弘前市百石町3-2

電話 0172-31-0195 FAX 0172-31-7623

プレスリリースに関する問い合わせ先・・・・・・・・

NPO 法人 harappa（担当：小杉）

〒036-8198 青森県弘前市元長町25 行人社 2F

電話 0172-31-7600 FAX 0172-31-1096 メール post@harappa-h.org

美術作家・佐々木怜央への取材について・・・・・・・・

佐々木怜央 作家本人は、会期中終日会場内におります。ただし、時間帯によっては席を離れていることもありますので、取材等を希望される方は事前にお問合せください。